令和５年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会
川崎市立川崎高等学校全日制福祉科の発表です。

●　オープニングの音楽が流れ、テロップが現れます。

【テロップ】
　川崎市立の高校には１３の専門学科があることをキミは知っているか？

●　タイトルが現れます。

【タイトル】
　令和５年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会
　川崎高等学校全日制福祉科

●　福祉科の授業風景を撮影した画像や動画が流れ、テロップが表示されます。

【テロップ】
　川崎市立川崎高校 福祉科は、３年間を通して介護福祉を学び、国家資格である介護福祉士の取得を目指す専門学科です。
　３年間のカリキュラムの約半分が福祉に関する科目であり、１年次より福祉の知識や技術を専門的に学びます。

●　救命講習を受けている様子を撮影した画像がスライドショーで流れます。

●　国家資格　介護福祉士の取得と題して、国家資格である介護福祉士の試験について説明するテロップが表示されます。

【テロップ】

今年３月に卒業した３年生３８名全員が、介護福祉士国家試験合格を成し遂げました！（合格率１００％、全国平均８４．３％）

介護福祉士を取得するためには、３年間で１３週間（６５日間）の現場実習を行う必要があります。

１年次は３週間（１５日間）通所介護（デイサービス）に、２年次は６週間（３０日間）高齢者施設や障害者施設に、３年次は４週間（２０日間）高齢者施設や障害者施設に実習に行きます。

施設の職員とともに、ご利用者に積極的にコミュニケーションや介護を実践し、介護知識や技術の習得に励みます。

● 洗髪の介護の授業の様子を撮影した画像が表示されます。

● 福祉科の授業と題して、福祉科の専門科目やカリキュラムについて説明するテロップが表示されます。

同時に、授業の様子を撮影した画像や動画が流れます。

【テロップ】

福祉科の授業は、社会福祉の歴史や制度について学ぶ「社会福祉基礎」、食事や入浴、移動、移乗の介護技術を主に学ぶ「生活支援技術」、からだの仕組みや障害・疾病について学ぶ「こころとからだの理解」などさまざまあります。

福祉科の３年間の学びについては、１年次は「基礎基本の習得」に力を入れますが、２・３年次になると、生徒自らが自分のテーマに基づいて学習し、グループワークや発表を取り入れた学習を数多く実施しています。

また昨年度の入学生より生徒一人１台タブレット端末（ＰＣ）を持つようになり、ＩＣＴを活用した学習も積極的に行っています。

● 卒業後の進路と題して、進路指導の内容や進路先などについて説明

するテロップが表示されます。

【テロップ】

３年生の後半は、介護福祉士合格に向けた国家試験対策や進路実現を目指した面接・小論文指導など生徒一人一人のニーズに応じた指導を行っています。

卒業後の主な進路先は、看護・医療系への進学が３５％、社会福祉系への進学が５０％、施設就職が１５％となっています。

近年では、福祉系大学に進学して支援学校の教師や社会福祉士、精神保健福祉士となる生徒や、看護系の学校に進学して看護師になる生徒が増えており、卒業生は現在、社会福祉、介護、教育など多方面で、リーダーとして活躍しています！

川崎市立川崎高校　福祉科で充実した３年間を送ってみませんか？

● 令和５年度川崎市立高等学校専門学科合同発表会のタイトルロゴが現れ、「詳しくは学校ホームページをご覧ください！」と表示され、「川崎高校　福祉科　検索」と表示されます。

● 川崎市のブランドメッセージロゴ「Ｃｏｌｏｒｓ，Ｆｕｔｕｒｅ！いろいろって、未来　川崎市」が表示されます。